



⑰オニヤンマ 


≡
日本のトンボでいちばん大きく、頭からおなかの先まで9-11cm。体は黒に黄色のすじもよう。




⑱ショウリョウバッタ 


体長が45mm以上で(それより小さいければオンパバッタかもしれません)、頭がななめ上に曲がっていること(まっすぐなら、ショウリョウバッタモドキかもしれません)がとくちょう。



⑲ヒグラシ 


成虫の体長はオス28-38mm、メス21-25mmほど。6月下旬頃から9月中旬頃まで、「カナカナカナ…」という鳴き声を聞くことができる。




⑳オナガササキリ 

ススキやチガヤなどの草はらで、昼間「シリリ・シリリ……」大きな声で鳴き、夜間や気温の低い日はテンポがゆっくりになり鳴き声が変わって聞こえる。


体長20-23mmで産卵管がとても長く、体長とほぼ同じ長さ。

㉑キンヒバリ 


ヨシ原などで、「リッ・リッ・リッ・リー」と区切るようにきれいな声で鳴く。金色のようなきれいな色をしているが、体長は8mmぐらいしかなく、姿はなかなか見ることができない。

㉒クツワムシ 

夜行性で、林のふちのクズなどつる植物のしげみにいるキリギリス科の昆虫。「ガシャガシャガシャ……」と鳴く。


㉓シマアメンボ 

体長5~7mmほどで、体はうすい黄色に黒のしまもよう。まるみのある体形で、あしはとても長い。流れのある水のきれいな小川やわき水にしかいない。いつも水面をあわただしく走り回っている。




「人と人との交わり、人と自然との交わり。」
2つの円は「人と人」、「人と自然」を表し、公園での出会いや交流によって、新しい何かが「めばえ」ます。




(財) 神奈川県公園協会
<http://www.kanagawa-park.or.jp>





























県立茅ヶ崎里山公園 

いきものしらべに参加しませんか?

「里山」には、さまざまな環境ごとにいろいろな生き物がくらしています。いくつ見つけれられるか、さがしてみましょ!

1. 調べるいきもの

見られる場所 ...  林  草地  水辺  いろいろな場所

季節	春・初夏 (3-6月ごろ)	夏 (6-9月ごろ)	秋 (9-12月ごろ)	冬 (12-3月ごろ)
植物 	① タチツボスミレ  	② ホタルブクロ  ③ ノカンゾウ 	④ マユミ(実) 	⑤ ウゲイスカグラ(花) 
鳥 	⑥ ウゲイス  ⑦ ヒバリ 	⑧ ツバメ 	⑩ モズ  林縁	⑫ ジョウビタキ  
両生は虫類 	⑬ シュレーゲルアオガエル(声・姿)  () ⑭ ニホンアマガエル(声・姿)  ()	⑮ ニホントカゲ  ⑯ アオダイショウ  	⑨ コジュケイ  ⑩ キジ 	
昆虫 		⑰ オニヤンマ  ⑱ ショウリョウバッタ  ⑲ ヒグラシ 	⑳ オナガササキリ  ㉑ キンヒバリ  ヨシ原 ㉒ クツワムシ  林縁	
	㉓ シマアメンボ  流水			

2. 調べた結果を教えてください

地図を見ながら公園を歩いて、「調べるいきもの」を探しましょう。
見つかったら、地図と結果表に書き込んで、パークセンターにお渡しください。
結果のまとめは、公園ホームページに掲載させていただきます。

①タチツボスミレ ●▲

春にうすむらさき色の花をさかせる。葉はハート型。明るいぞうき林の中や林のふちなどに生える。



②ホタルブクロ類 ●▲

草原などに生え、6-7月ごろ、うすいピンク色の花をさかせる。花の下の「がく」の形によって種類を見分ける。「がく片」の間にそりかえりがあるのがホタルブクロ、ないのがヤマホタルブクロ。



③ノカンゾウ ●▲

7-8月ごろ、田のふちなどしめった場所に生え、ユリの花に似たオレンジ色のひとえの花をさかせる。よく似たヤブカンゾウは、やえざき。



④マユミ(実) ●●

ぞうき林などに生える低木。初夏にうす緑色のじみな花をさかせ、秋にピンク色の実がじゅくす。



⑤ウグイスカグラ(花) ●●

ぞうき林で、(冬～)早春にいちやくピンク色の星型の花をさかせる。



⑥ウグイス ●●

「ホーホケキョ」とさえずり、やぶの中にいることが多い。体長は16cmで、スズメより少し大きい。



⑦ヒバリ ●▲

空を飛びながら大きな声で「ピーチュクリーチュル」とさえずったり、草地をとことこと歩く。体長は17cmで、スズメより少し大きい。



⑧ツバメ ●×

夏鳥として春先に日本にやってきて、子育てをする。のどとひたいが赤いのがとくちょうで、大きさは17cmで、スズメより少し大きい。



⑨コジュケイ ●●

「ピーッ!ピーッ!ビピーッ!」という大きな鳴き声のあとに「ちょっと来い!ちょっと来い!」と聞こえる鳴き方をする。大きさは27cm。オス、メス同じ色。



⑩キジ ●×

オスは3月ごろから、ケーン、ケーンと大きな声で鳴き、なわばりをつくる。大きさはオス80cm、メス60cm。



(写真:オス)

⑪モズ ●●

こん虫やカエルなどの小動物を食べる鳥で、秋には、それらのえさをくしぎしにした「はやにえ」が見られることがある。大きさは20cm。



⑫ジョウビタキ ●●×

こん虫や木の実などを食べる冬鳥。大きさは14cmでスズメと同じくらい。(写真左:オス、右:メス)



⑬シュレーゲルアオガエル ●●

体の色は、目のまわりもふくめて緑色(ほご色でかっ色にも変化する)。鳴き声は、ニホンアマガエルよりも小さくて高く、「コロロ・コロロ…」と聞こえる。



⑭ニホンアマガエル ●●

目の前から後ろにかけて茶色のすじもようがはいるのがとくちょう。体の色は、緑色だが、ほご色で茶色っぽい色にも変わる。鳴き声は「ゲッゲッゲッゲッ…」「クワックワックワッ…」と聞こえる。



⑮ニホントカゲ ●▲

日当たりのよい草地や石がきなどにすむ。カナヘビよりも、うろこが細かくてなめらか。幼体は頭からどうに金色のすじがあり尾はあざやかな青色。てきにおそわれると自切する。



⑯アオダイショウ ●●×

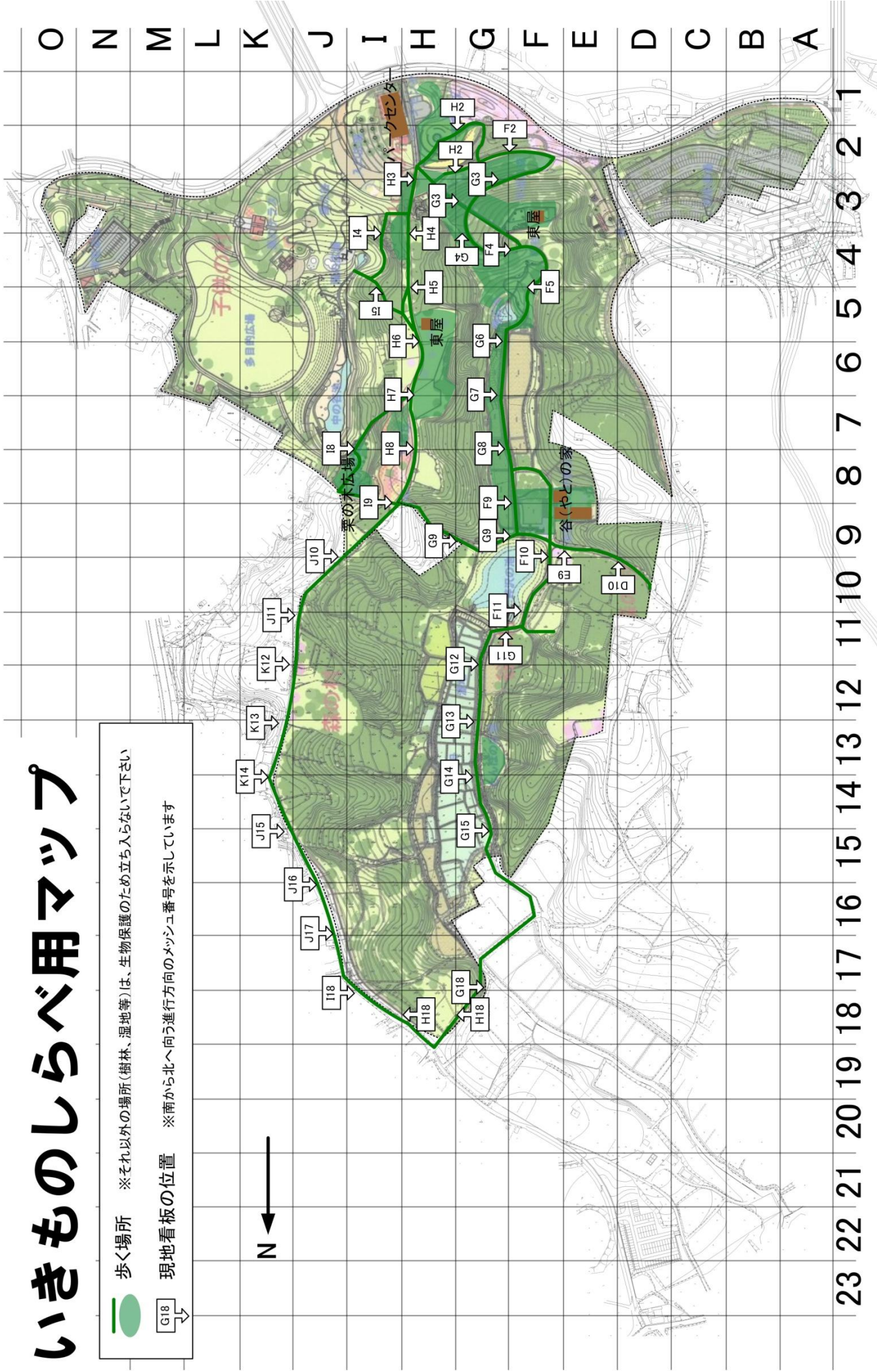
全長は100-200cm。かっ色がかかったオリーブ色にうすい4本のたてじまもよう。よくにたシマヘビは全長80-150cmでふつううすい黄色に黒いたてじま模様。どくへびのママシはよこじまと丸印が交互のもようなので注意!



いきものしらべ用マップ

歩く場所 ※それ以外の場所(樹林、湿地等)は、生物保護のため立ち入らないで下さい

現地看板の位置 ※南から北へ向う進行方向のメッシュ番号を示しています



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

A B C D E F G H I J K L M N O